

- 秋落ちは米作りの大敵ですが、作付け中は簡単に診断できないため対策が困難です。
- この原因である硫化水素の発生程度を水田に挿すだけで“見える化”できる資材です。

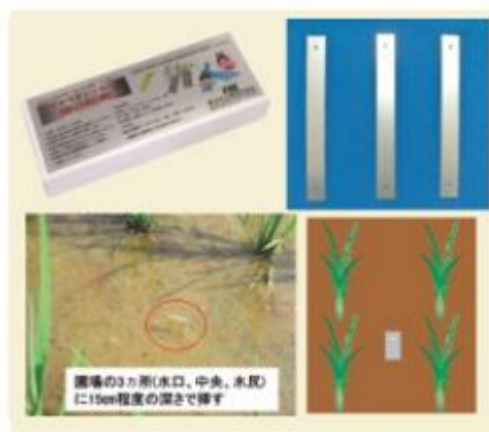


写真1 「イオウチェッカー」製品写真と、実際に圃場に挿した例

- 設置時期：中干し前または穂揃い期
- 設置期間：1週間で十分

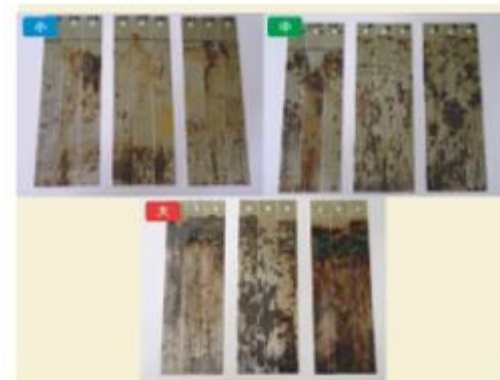


写真2 変色程度を判定する色見本



表1 色見本による秋落ち判定と対策

秋落ち判定	対策	
	本作において	次作に向けて
大 (上部もしくは全体に著しい変色)	・中干し前：十分な中干し ・穂揃い期：一時落水や間断かん水	土壌診断で遊離酸化鉄含量を確認し、不足している場合は、鉄を含む土づくり肥料を施用しましょう
中 (部分的に変色)	緊急の対策は必要ありません	混層耕などを行い作土と下層土を混合しましょう
小 (変色はあまりない)		特に必要ありません。 このまま健全な土づくりに努めてください

表2 鉄を含む土づくり肥料の例

品名	出荷元名称
とれ太郎	デンカ株
シリカサポート	小野田化学工業株
ミネカル	複数メーカー
農力アップ	産業振興株

地域によって流通していない場合がありますので、詳しくはお近くのJAにお問い合わせください

「ワキ」が発生している圃場はもちろんですが、今の圃場がどれくらい硫化水素が発生しているかを本資材で確認し、水稻の収量をあげるためにしっかりと対策を行いましょう。